

## Chairperson's message



**Nader Shokoufi**  
Iran

## 巻頭言

ようやく北半球に春が到来し、春は美しい光景や雨をもたらしたが、それでも私の大きな心配事は消えていない。それは、私は人生で初めて、雪が積もらない冬を経験したからであり、この冬、私の故郷では、雪は2度、それもたった数分しか降らなかったからである。

私が、地球温暖化は現実のものだ、と直接的に感じたのは初めてのことである。私がこどもの頃には、冬にはもっと多くの雪が降っていたと思うし、私のようなスキー好きにとっては、非常に残念なことだ。

しかし、地球温暖化には、スキーよりも重要なものの存在がかかっている。いくつもの都市が、それどころか国までが（たとえばモルディヴ）、海に沈むかもしれない。さらには、1つの大陸全てが（たとえば北極大陸）消えるかもしれない。そして驚くべき生き物の多くが、死に絶えるかもしれない。人間がそのリストに入らないように望むばかりである。

さらに付け加えるべき点は、この大規模な問題が私たちの生涯の間に生じる出来事だという事である。そしてさらに悪いことに、これらは現在の政治家や政策立案者たちの生涯の間には生じない問題であり、それゆえ彼らは、我々の世代ほどにこの問題に関心を抱いていないように思えるし、COP15は実質的な結論を持っていなかった。したがって我々YPは、なおさら関心を持たなければならない。

環境、経済、社会と広範囲における持続的な発展に向けて、Young Professionalとして私には2つの責任があると感じている。1つは仕事とプライベートの両面において責任ある行動を取ることで、もうひとつは、無責任な決定がもたらし得る結果について、公衆への情報提供の手助けをすることである。これらの責任を果たすために、私たちには専門家たち、特に若い世代の専門家たちによる活動的なコミュニティが必要である。

私は、2005年から2009年まで行われたすべてのFIDIC YPMTPのクラス最終報告書「将来のリーダー」に目を通した。これらすべての報告書は持続的な発展を課題としていたと結論付けることができ、この点において私は幸せを感じている。そして、FIDICに所属している若い専門家たちがこの課題の重要性に目を向けていたことに、私は幸せである。

FIDIC 持続的開発委員会会長（以前のニュースレターの記事を書いた人物）である Bill Wallace は次のように指摘している。「意思決定者のレベルまで到達しない限り、持続可能性という課題に対して私たちが本来あるべき効果的になることはできない。同時に、効果的な Young Professionals のコミュニティの形成なく、意思決定者のレベルにまで上り詰めることはできない。」と述べており、若い専門家たちの活発的で効果的な委員会が作られていなかったのならば、踏み台を作るという決心で前へ進むことができないと私は考えている。

さて、私が皆様に伝えるべきメッセージは

もし、あなたの国に YPF があれば、もっと活発に参加して下さい。

もし、あなたの国に YPF がなかったら、YPF を組織しましょう。

もし、YPF の立ち上げの仕方が分からなくても、心配無用です。

FIDIC YPF 運営委員会の仲間があなたを助けます。

Nader Shokoufi  
FIDIC YPF 運営委員会議長



**Susie Grynol**  
Canada

## ACEC カナダ学生啓発キャンペーン 初年度終了

多くの業界やエンジニアリング界は数年内に技術者不足におちいると予測されており、これは ACEC（カナダ協会）の加盟企業も例外ではありません。2008 年、理事会は人材の持続性に焦点をあてた新しい戦略分野を導入し、「エンジニアリングレガシー（Engineering Legacies；技術の遺産）」と称した、工学部の学生対象のエンジニアリングコンサルティング業界の推奨キャンペーンを展開しました。

キャンペーンの基本は、若手技術者自らがエンジニアリングコンサルタント企業で働く際の仕事の機会や経験を語るショーケースのような一連のビデオモジュールで、モジュールに参加するために、ACEC ではウェブサイトやパンフレット、ポスター、パワーポイントによるプレゼンテーション、ウェブバナーを展開してきました。

2009 年 9 月に全てのツールが完成するとすぐに、ACEC は工学部の学生達にそのビデオを見せるために、カナダ横断ツアーを開始しました。イベントとして、学生への室内プレゼンテーション、大学キャンパスでの説明会、就職フェアや学生会議などが催されました。

現在まで、エンジニアリングレガシーのウェブサイトには数千ものアクセスがあり、Facebook や Youtube、Twitter などのソーシャルメディアにおいても強い存在感を示しています。

エンジニアリングレガシーキャンペーンのウェブサイトやビデオをご覧になるには、[www.engineeringlegacies.com](http://www.engineeringlegacies.com) or [www.legeniededemain.com](http://www.legeniededemain.com) にアクセスしてください。

ACEC は、このプロジェクトの成功のために寛大に貢献して頂いたスポンサー会社に感謝しております。スポンサー会社をご覧になりたい場合は、[www.legeniededemain.com](http://www.legeniededemain.com) にアクセスし、sponsors のリンクをクリックしてください。

Engineering Legacies についてより詳しく知りたい方は、ご連絡下さい。

Susie Grynol  
副議長  
企画、渉外担当  
[sgrynil@acec.ca](mailto:sgrynil@acec.ca)  
1-800-565-0569（内線 203）



**Emrah Uluverdi**  
Turkey

## GEM プラットフォーム

EU の出資の基でトルココンサルティング・エンジニア建築家協会 (ATCEA) とオランダコンサルティング・エンジニア協会 (ONRI) が実施したプロジェクトの結果として、GEM (トルコの若手技術者と建築家) プラットフォームは設立された。特に 2009 年 5 月 29 日から始まった 33 名の初期メンバーによる「若手専門家セミナー」は、GEM プラットフォームの主要活動の 1 つである。その後 GEM プラットフォームは、若手による ATCEA 非公式の組織として活動を始め、現在は若手技術者と建築家以外にも様々な専門家が参加しており、総勢 150 名のメンバーを有するに至る。

2009 年 7 月 4 日に GEM プラットフォームの初回会議を開催した。当会議では、我々の最初の目的であった GEM プラットフォームの組織体制が決定され、「エンジニアリングコンサルティング分野におけるあらゆるステークホルダーの発展に貢献するという観点から、技術者や建築家など若手専門家の権限や責任を高めることによって、知識と技術の向上に寄与する」ことを GEM の主要目的とする旨が話し合われた。また GEM は、上位職への権力の集中を避け、形式的な階層構造をとらない組織体制となった。さらに、人材育成、活動、外交、コミュニケーションの 4 つのワーキンググループを結成し、これらワーキンググループが様々な活動を担当することが決定された。

### 最近の活動

GEM プラットフォームは現在までに下記の活動を実施してきた。

- ・定期ミーティング：ATCEA の本社で毎週勤務時間後に開かれるミーティングであり、今後の計画や活動方針が話し合われる。当ミーティングは現在までに通算 55 回の開催されている。
- ・GEM 会議：若手にコンサルティング産業の情報を提供すること、若手の意識を高めること、それぞれの世代の意見を把握することを目的とした会議であり、すべての GEM メンバーが参加してきた。
- ・トレーニング：GEM は技術関連分野からその他の分野までカバーする幅広いトレーニングセミナーを実施している。現在までにはプロジェクトマネジメントとコミュニケーションマネジメントに関するセミナーが実施されている。
- ・協力ミーティング：当会議では、「FIDIC と FIDIC YP プログラム」及び「トルココンサルティング・エンジニア建築家協会」の活動を研究し、議論を行っている。
- ・社会活動：様々な大学で、カクテルパーティー、ネットワーク作り、プレゼンテーションを行っている。
- ・内部発表：定期ミーティングの結果として、GEM が有する情報及び経験の共有を目的とした様々なトピックに関する内部発表を行っている。
- ・社会文化活動 朝食、博物館のツアー、夕食時のミーティングを実施している。
- ・ATCEA 会議との協同セッション：若手育成をテーマとした協同セッションを実施しており、プレゼンテーションやグループディスカッションを行っている。
- ・GEM プラットフォームに関する記事：ATCEA マガジンや電子掲示板にて GEM プラットフォームに関する記事を掲載している。



GEM and ATCEA members in family photo at the closing of 1st GEM Conference

## 今後の計画

過去 11 ヶ月に亘り我々は数々の活動を実施してきており、これによって多くの経験を得てきた。しかしながら、これらの活動は我々のスタート地点であり、設立時の情熱を忘れることなく、今後も新たな活動に積極的に取り組んでいく必要がある。

我々は、幅広いフィールドから集まったメンバーと強固な組織、及び数多くの経験から成り立つ GEM プラットフォーム及びトルコの若手専門家としての活動を通じて、FIDIC YP のコミュニティに大きく貢献できると確信している。また、FIDIC YPFSC の協力により、さらに多くの若手専門家を対象とした幅広い活動を効率的に実行することが可能となるであろう。これを GEM プラットフォームの目標として、我々は世界各国の若手専門家と情報や経験を共有し、協同プロジェクトの企画を進めていく。FIDIC YPFSC には、世界各国の様々な若手専門家プログラムとのコミュニケーションを通じて、お互いの理解を深め、情報と経験の共有を図るという役割が期待されている。



50th Coordination Meeting was celebrating

Emrah Uluverdi  
GEM Platform /TURKEY  
turk.gem@gmail.com





**Prashant Kapila**  
India

## 若手エンジニアへ 2010年FIDICニューデリー大会のご案内

FIDIC 大会が 2010 年 9 月 19 日から 22 日までニューデリーで開かれます。世界の中で経済成長が著しい国の一つであるインドで会議が開催されるのはこれが初めてのことです。会議のテーマである「未来へ向けた技術革新のマネジメント」は、持続可能性に関連した次のシリーズのテーマとして FIDIC によって採択されました。

どのような経済でも、技術革新は実質成長の鍵であります。これは一時的な努力によるものではなく、継続的なものです。

「革新」という文脈において「市場への新しさ」の知識の吸収と伝達と同様に、「世界への新しさ」の知識の商業化と生産を包括することは世界的ともいえるでしょう。このどちらのタイプの革新性も不可欠であろうが、新興国は、ひとつの専門的境界を追及することよりも、より吸収力を増してより幅広い最新知識に追いつくことに軸足を置くと考えられます。実のところ、膨大な知識はグローバルに十分に活用されているとはいえません。新興国のニーズをより的確に示しその緊急性が認識された上でこそ、気象変更、再生可能エネルギーの不足などに直面する国々のニーズが認識されます。「革新性」はとりわけ経済的に新興的な社会を含むすべての需要を明らかにし、これらを「含めて」ターゲットにしなくてはならないでしょう。

FIDIC には、ヤングプロフェッショナルフォーラム(YPF)と呼ばれる、我々の業界の若手技術者が一同に集まることを目的とした組織です。YPF には運営委員会があり、それは、YPF の基本的な役割、目的に積極的な興味を示した世界中の若手技術者から選ばれています。現在の YPF 運営委員会の議長は、イラン出身の Nader Shakoufi で、副議長は、南アフリカ出身の Michele Kruger が担っています。

年次大会では、コンサルティングエンジニア業界での豊富で様々な経験をもった人々が世界中から集合します。それは、多くの知恵とアイデアが我々の業界を推し進め、我々が前進する道を形成するであろう人々の、コレクションともいえます。私自身、2 回の大会に出席したが、それは本当に出席したこと自体いい経験でした。世界中から来る先輩技術者と若手技術者が出会うことは、新しいアイデアを引き起こし、異なる経済や社会においても適用できる考えを参加者に気付かせることができました。

今年 YPMTP への登録者が 55 名に上ったことはとても嬉しいことであり、すべての登録者が FIDIC 大会に参加することを期待しています。さらに、様々な国から若手技術者が参加することを期待しています。YPF 運営委員会は協力して全ての若手技術者が楽しめるプログラムを準備しています。それは大会プログラムから得られる知見だけでなく FIDIC が企画する様々なソーシャルイベント等における交流においても若手技術者が楽しめるものです。

ニューデリーはインド北部の Yamuna 河の河岸に位置する世界の中でも最も歴史の古い街であり、人口 1500 万のインド第二の都市であります。ニューデリーは行政、商業的ハブであり、またエンジニアリングにおいて先進的なタージマハル大学をはじめとした世界的なゲートタウンです。大会全体において、同伴者とともに楽しむことのできるツアーが準備されてます。ニューデリーは若者の人口が多く、バー等の社交の場にも事欠きません。

ぜひ興味のある若手技術者は早期登録割引が利くように早めに大会参加の手続きをしてください。また、ニューデリーでは FIDIC 大会の直後に Commonwealth ゲ

ームが開催されるため早めに手続きを進められるようお願いいたします。  
ニューデリーでお会いするのを楽しみにしています。

**Prashant Kapila**

Member, YPFSC and Member, Governing Council, Consulting Engineers  
Association of  
India (CEAI)



**Er. Toh Han Lin**  
Singapore

## シンガポールコンサルティングエンジニアリング協会 ヤングエンジニアネットワーク (ACES YPC)

シンガポールでの若手専門職グループの立ち上げのアイデアは 2006 に構想された。2008 年 9 月、シンガポールコンサルティングエンジニアリング協会 (ACES) の 36 周年の晩餐で若手専門職連絡会が立ち上げられた。

若手専門職連絡会または YPC は、端的に言えば、コンサルティング業界の中で、若手専門職が有益な影響を与えることのできるプラットフォームとなることを狙っている。我々の目的として、若手専門職がコンサルティングエンジニアリング産業において、彼らのキャリアを伸ばすのを助けること、また、大学卒業生がコンサルティングエンジニア職について考えることを促すことを狙っている。

これまでに、70 名の若手専門職が活発に参加し、我々の活動からプラスを得ている。



ACES Visit to steel fabrication yard



YPC Inaugural Dinner 2009

立ち上げから 18 ヶ月間で、我々の委員会は視察や学校訪問、また、社会交流会を実施した。

2009 年 5 月、YPC は活動資金を集めるための就任披露の晩餐も開催した。この晩餐は、産業界のメンバーに非常に好評だった。

我々の母体である ACES は、YPC メンバー 1 名を 2010 年 FIDIC YPMTF に参加させることに協賛した。現在、その給付者はプログラムを受講している。今年の注目すべきイベントの一つは、9 月の上海への海外訪問であり、国際博覧会やその他の興味深い地を訪れることになっている。

YPC では、将来、メンバーのためのより多くの興味深い活動を実施することを望んでいる。

**Er. Toh Han Lin**

Chairman  
ACES YPC



**Julia Cheng**  
China

## 深圳（シェンチェン/しんせん）市 公共投資のための グリーンテクノロジー評価標準システムプロジェクト

都会化における自らの考えを拡大、再構築したルコルビュジェは、「Green City」の概念を最初に提案し、「The Radiant City」で、ついにそれらを発表した。「Green City」は、居住者の健康と環境をうまく保護できるかぎり、人間の創造力とコミュニティの生産性を最適化させ得る自然と十分に調和した都市、と定義された。Green City の計画と開発は、人間の高い活動領域に持続性を取り入る。「Ecological City」（1970 年代）が提唱されて以来、世界中の多くの国は、各国の特徴に基づき、持続可能な発展に関する様々な政策を確立した。持続可能な発展は、進化したグリーン文明への世界的な傾向を不可逆なものとした。全世界で急速な開発が行われているなかで、我々は、全ての経済および社会的な活動が環境保護との両立を確立させる必要がある。天然資源の利用により、自然環境に損害を与えてはならない。

深圳市は、中国本土の南海岸沿いの、広東省に位置する。1970 年代後期以降、対外投資の中心であり、世界で最も成長の早い都市のうちの 1 つである。



深圳市の大部分は、この数 10 年間に成長し、中国の他の都市と比べて計画的に発展した都市である。しかしながら天然資源の途方もない消費によってこの都市のさらなる発展には多くの制約が生じるようになった。これらの制約の中には、1) 土地、水資源、エネルギー、2) 中の下程度の一人当たり GDP、3) 減少する環境容量、の制限というものが含まれている。これらの問題を解決し、持続可能なペースで開発するために、深圳政府は公共投資プロジェクトのためのグリーン技術評価基準システムを導入した。

深圳公共投資プロジェクト評価センターは、2006 年にグリーン技術評価基準システムを開始、編集し始めた。それは 2010 年前半に完成し実施に入っている。このシステムの目的は、グリーンシティというコンセプトを政府が資金供給したプロジェクトへ取り入れ、最終的には市の全プロジェクトに取り入れることである。それは、「グリーン建築」、「グリーン道路」、「グリーン水関連プロジェクト」の 3 つの個別基準システムで構成されている。これらの基準は、公共建築、道路、インフラ設計のガイドライン、そしてプロジェクト初期段階における評価標準として利用されることを目指している。

「グリーン建築」マニュアルは、気候的、技術的、経済的状況、そして深圳に特有な規制状況を考慮して「グリーン建築のための国家基準」を更に特殊にしたものであった。それは学校や病院などの公共建築の設計と評価に適用されている。このマニュアルにおけるガイドラインは6つのセクションから構成されている。1) 土地利用効率と屋外環境、2) エネルギー利用効率、3) 水源利用、4) 資材の効率的利用、5) 屋内環境の質、6) 運転管理である。

「グリーン道路」マニュアルは、新しい公共道路工事と既存道路の補修に適用されている。それは、資材利用・環境保護の最適化、道路のライフサイクル全体での汚染最小化を目指している。グリーン道路基準は、周囲の状況に美学を加える一方、居住者にとっては快適で便利な移動手段を提供している。グリーン道路評価基準には以下のものが含まれている：1) 工事の目的と必要性、2) グリーン道路技術実施のフィージビリティ、3) 経済と効率性の詳細分析、4) 技術的バックグラウンドでの総合アセスメント、5) リスクアセスメント。

「グリーン水関連プロジェクト」マニュアル（現在試行中）は、水処理施設・治水・河川流量調節プロジェクト、浸食・堆砂管理、給水、雨水、汚水排出のような、政府が資金供給した水関連プロジェクトの設計と評価に適用されている。このマニュアルに基づいた水関連プロジェクトを評価する際、以下の4カテゴリーが考慮される：1) 土地利用効率と周辺環境、2) 効率的エネルギー利用、3) 水資源利用、4) 資材利用。

環境保護は近年の都市発展の中で考慮に入れられたが、急速に成長した経済が大きな環境容量を求めているため、深圳は依然として天然資源の深刻な不足状態にある。言い換えれば、経済成長と生態系がバランスをとるための解決策を見つけることはきわめて重要である、ということである。グリーン技術評価基準システムは、ある程度国家的な、そして国際的でもある基準を取り入れており、深圳に特有な条件に対して実証されている。その発表および実施は、深圳の持続的成長に向けての重要な戦略的ステップとなった。





**Kazutoshi Akasaka**  
**Japan**

## AJCE YP (Young Professional) 分科会の設立について

FIDIC YPF (Young Professional Forum) や ASPAC YPF (2008 年) が設立され、FIDIC における若手技術者の活動が非常に活発化してきている。それに対して、日本における若手技術者の活動は、任意の組織『若手技術者グループ (YPG : Young Professional Group) 』によって行われていた。

このような中、2009 年 10 月、AJCE 技術研修委員会の下、若手技術者自身による若手技術者支援のための YP 分科会が正式に設立された。

YP 分科会の 3 つの目的は次のとおりである。

1. FIDIC/ASPAC 活動への参加等を通して、若手技術者の研修及び国内外の若手技術者のネットワークづくり支援
2. 国際市場で活躍できるコンサルティングエンジニアの育成
3. 学生をはじめとする若者がコンサルティング業界への関心と興味を高める活動

YPG の活動としては、日本とオーストラリア間で 10 年以上にわたり実施されている若手技術交換研修 (YPEP : Young Professional Exchange Program) である。この YPEP の卒業生が、現在、YP 分科会の主要メンバーとして重要な役割を担っている。

第 1 回の委員会で今後の活動内容についてリストアップし、その内容は図 - 1 に示すとおりである (その活動の中には、この FIDIC YPF ニュースの翻訳/配信もある。 )。

YP 分科会は、以下の 3 つの組織からなる。また、YPG は若手技術者が自由に参加可能なボランティア組織として、その活動を継続し、本分科会は、これらの若手技術者と AJCE/FIDIC 活動との橋渡し役として、活動を行っていく。

我々は、今年度、現在も継続中の活動 (YPEP 支援、若手技術者の懇談会・勉強会、翻訳支援、等) に加えて、新たなイベントを予定している。

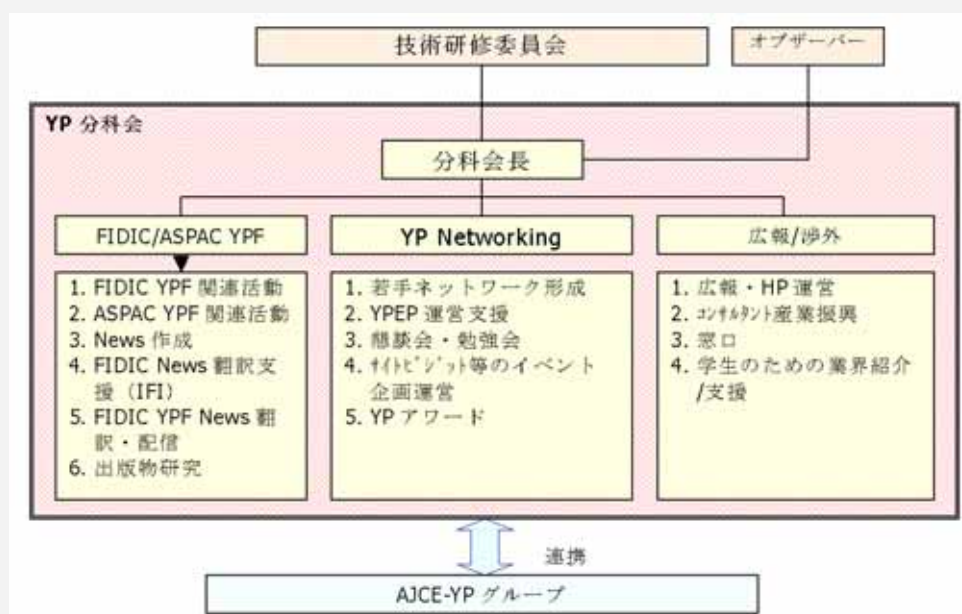


図 - 1 YP 分科会の組織構成



Association of Consulting Engineering Companies  
L'Association des firmes d'ingénieurs-consultants

**ACEC - Canada**

## 多くの要望による支援：国内サミット会議における ACEC(カナダ)が開催する第2回YP年次プログラム

カナダ技術コンサルタント協会（ACEC）は、2010年6月24日～26日に開催される ACEC 国内サミット会議において、第2回若手専門職(YP)年次プログラムを催すことを非常に喜んでいる。

35歳以下の専門職を対象とした YP プログラムは、若手専門職に彼等の同僚達と交流したり人脈を作ったり、また、多くの会議や若手専門職のために特別に設定された視察旅行に参加したりする機会を与えるために設けられたものである。

今年の新企画は YP フォーラムで、これによりカナダ中の若手専門職は、お互いの経験や国内の異業種における若手専門職のニーズに対する取り組みについて共有することができる。

ビジネス会議では、ハイパフォーマンスな組織の立ち上げや市場動向、産業界の需要の変化などの議題が予定されており、また名所旧跡や若手専門職のための Minister 島での技術視察旅行もある。YP プログラムとはまさに教育し促進させるものである。

夜には、Maritime-flavored social program でリラックスし、音楽やダンス、そしてビールを楽しもう。それは思い出に残るハイライトになるだろう！我々は6月のニューブランズウィックで君たちを待っている。

登録情報については、<http://www.acec.ca/en/services/acec/index.asp> もしくは ACEC オフィス（1-800-565-0569）にコンタクトして欲しい。



**Shayan Moin**  
Iran

## ISCE YPF News (イランコンサルタント協会)

イランコンサルタント協会 YPF (ISCEYPF) はこれまでと同様に季節ごとの定期プログラムを開催してきた。春と秋の大会は若手技術者が集まるソーシャルイベントであり、音楽パフォーマンスなどを一緒に楽しむ会となっている。一方、夏と冬は半日のセミナーが開催される。

2010年の冬季セミナーは2つのテーマで4人の講演がなされた。テーマは専門性の統合とエネルギーの効率化であった。最初のテーマの2人の講演者は FIDIC BIMD と GPIMS、ISCE の規則についてレクチャーを行った。後者のテーマの2人の講演者は持続可能性に関連したエネルギー効率化について講演を行った。ISCE の YPF 運営委員会は地球温暖化に関連した短い映画を講演の合間に上映を行った。

**Shayan Moin**  
ISCE YPF





Michele Kruger

## FIDIC YPF を広げましょう！

皆さんもこの若いダイナミックなグループの一員になって、最新版のニュースレター、イベント（例えば FIDIC 会議とトレーニング機会）に関する情報を入手しませんか。

私達 FIDICYPF グループはあなたの国の YPs が何をしているか、そして、彼らとどのように関わっているかを調べています。下記のアドレスから YPF ホームページにアクセスして情報をお寄せください。

登録頂いた方には、ニュースレターやインフォメーションを送付いたします。あなたの情報の更新もお忘れなく。

私達と FIDIC に関する情報はこちらから。

<http://www1.fidic.org/resources/young/default.asp>

更に詳しい情報が必要な方や私と直接コンタクトを取りたい方は、下記のアドレスへ直接ご連絡ください。

[fidicypforum@gmail.com](mailto:fidicypforum@gmail.com)

Michele Kruger  
FIDIC YPF 運営委員会  
コミュニケーション担当責任者

Le contenu de ce document est la propriété de la FIDIC. Toute réimpression ou utilisation non autorisée sans la permission écrite de la FIDIC est formellement interdite. Toute violation de cette interdiction entraînera des poursuites judiciaires. Toute réimpression ou utilisation non autorisée sans la permission écrite de la FIDIC est formellement interdite. Toute violation de cette interdiction entraînera des poursuites judiciaires. Toute réimpression ou utilisation non autorisée sans la permission écrite de la FIDIC est formellement interdite. Toute violation de cette interdiction entraînera des poursuites judiciaires.

## あなたの国でも YPF を作りましょう。

FIDIC YPF と各国の YPFs の活動が気に入ったら、今度はあなたの国の番です。あなたの国の FIDIC 会員協会(MA)を通して、YPF を組織するのが最もよい方法です。しかし、そのような協会が存在しない、あるいは、あなたの国の MA が YPF を持ちたくないならば、あなたはあなた自身で YPF を始める方法一緒に考えるために、我々に連絡を下さい。FIDIC を通して、我々はあなたの YPF 組織するために協力します。あなたに必要なのはエンジニアリングに対する熱意だけです！ その熱意からあなた自身であなたの YPF が何を代表するのかを決めてゆきます。何にフォーカスをおきましょう？それは若手エンジニアのトレーニングでしょうか？若い世代がエンジニアリングに興味を持つようにすることでしょうか？それとも仕事仲間を集めた社交界のようなもの？または、これら全てですか？

FIDIC YPF として、我々はあなたの新しい努力を支援するためにできるだけのことを行います！

連絡は：[fidicypforum@gmail.com](mailto:fidicypforum@gmail.com)



# NEWSLETTER

YOUNG PROFESSIONALS FORUM  
INTERNATIONAL FEDERATION OF CONSULTING ENGINEERS

FIDIC YPF News Letter 2010 年 6 月号

下記の方々に翻訳を協力いただきました。  
ご多忙の中大変ありがとうございました。

(順不同・敬称略)

原 崇	〇 Y O インターナショナル(株)
香月 寛之	(株)建設技術研究所
矢神 卓也	(株)建設技術研究所
甲斐 慎一郎	(株)建設技術研究所
高樋 直人	(株)日水コン
赤坂 和俊	(株)日水コン
加藤 佑希	(株)オリエンタルコンサルタンツ
宗広 裕司	(株)長大
手塚 誠	(株)長大
長谷川 正	(株)長大

取りまとめ  
AJCE 技術研修委員会 YP 分科会  
担当 中島 隆志  
(株)建設技研インターナショナル